

平成26年度の予算が決まりました！

26年度の一般会計当初予算は、前年度当初予算に比べ、6億7千万円増え、296億7千万円となりました。

当初予算の編成に当たっては、長引く景気低迷や病院事業への継続的な支援などによる厳しい財政状況の中、引き続き「基金に頼らない財政運営」を基本に、「十和田市の元気につながる着実な取り組み」や「将来負担の軽減につながる効果的な取り組み」を推し進めたものとなっています。このような中、政策の実現を著実に進めるために特別枠を設け、特色ある事業を展開していきます。

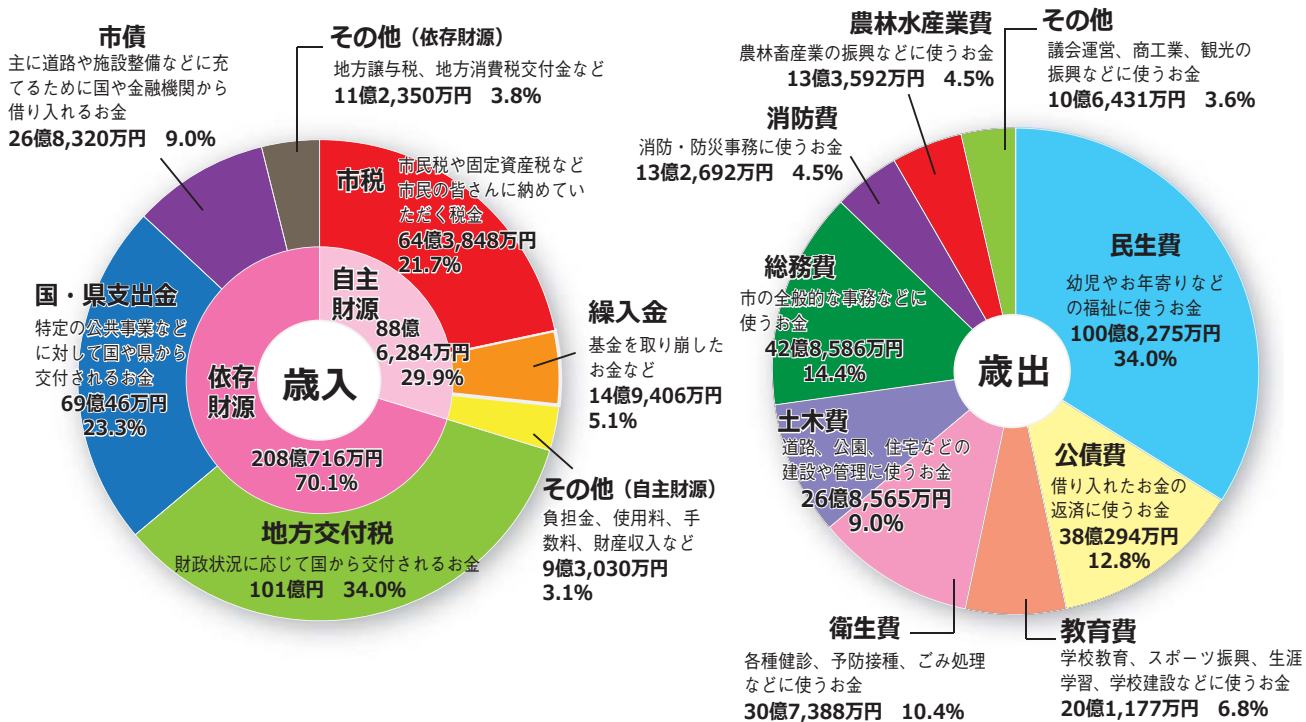
また、新市誕生から10年という節目の年を迎えるに当たり、各種記念事業を行います。

◆歳入◆
市税は前年度比2・5%増となる一方で、地方交付税は国全体の交付額の削減により1・9%減の101億円を見込んでいます。

◆歳出◆
病院事業会計繰出金の増加に伴い、衛生費が16・1%の増加。農林関係の各種施策の実施に伴い、農林水産業費で16・9%の増加を見込んでいます。

国政策財政課 財政係 ☎ 6713

■一般会計当初予算296億7,000万円の内訳（1万円未満は四捨五入）

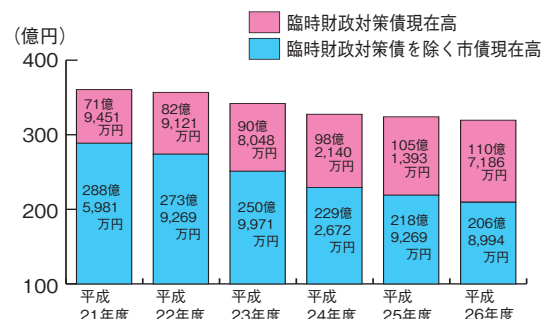


■各会計予算の前年度比較・各会計への繰出金の状況

会計名	予算額	前年度との比較	増減率	一般会計からの繰出金	
一般会計	296億7,000万円	6億7,000万円	2.3%	—	
特別会計	国民健康保険事業	73億6,652万円	△2億8,554万円	△3.7%	4億9,199万円
	地方卸売市場事業	2,332万円	217万円	10.3%	233万円
	後期高齢者医療	5億6,871万円	3,105万円	5.8%	1億8,147万円
	介護保険事業	67億9,913万円	5億9,089万円	9.5%	9億8,082万円
	温泉事業	2,602万円	2万円	0.1%	—
企業会計	水道事業	37億4,136万円	6億5,443万円	21.2%	2億2,100万円
	下水道事業	50億5,164万円	7億5,762万円	17.6%	11億9,605万円
	病院事業	131億6,866万円	33億2,282万円	33.7%	13億9,399万円

※企業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。

■一般会計当初予算での当該年度市債残高見込み額の推移



※臨時財政対策債とは、財源不足を補てんするため借り入れする市債で、償還に要する費用は、後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源といえます。

用語解説

一般会計…教育、福祉、道路の整備など十和田市の基本的な事務・事業に関する会計です。
特別会計…特定の事業を行う場合や保険料など特定の歳入を特定の歳出に充てるなど一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計です。

企業会計…企業的人格をもった事業を運営するために設置された地方公営企業の会計です。
自主財源…市税、分担金及び負担金、使用料および手数料など市が自主的に確保できる収入です。
依存財源…地方交付税、国庫支出金、県支出金など国や県の意思で交付されたり、割り当てられたりする収入です。